

○男子新人ジョイフォア（早朝並べ） (S. ^{よしだまさき}吉田昌樹 3. ^{あさのけいたろう}浅野桂太朗 2. ユ ヨンミン B. ^{なかやまひろたか}中山弘崇 c. 田中慶一)

北大	5' 13" 78	1位
商大	5' 10" 30	2位

浅野 桂太朗(1)

早朝レースに参加した浅野です。

当日は、起床時から雨が降っていて、舟を出す時には相当な勢いになっていました。そのためアップが十分に行えず、体が冷えるのを懸念しながらのレースであり、結果は、北大に3秒遅れのゴールとなりました。

思う様な形にならなかった原因には、準備不足ということがあるかもしれません。特に、スタ練はクルー同士で合わないことが多く、本番でもスタートで北大チームに差をつけられたと思います。

個人的な反省として、自分は基本的な動作ができませんでした。例えば、肩の力を抜かないゆえにブレードが十分に抜けず水面を擦ってしまったことです。そしてそのせいですぐに焦ってしまうメンタル面の脆さも出ました。

悔しい結果となりましたので、自分たちのレースを分析し次回に活かして練習に臨みます。



○OBエイト

北大	1' 44" 62	1位
商大	1' 51" 38	2位



○女子マネージャーレース (S. ^{にしひろひなみ}西廣日菜美 3. ^{むらかみまり}村上業莉 2. ^{ふじむらそのこ}藤村園子 B. ^{いけだありさ}池田有沙 c. 田中慶一)

北大	2' 47" 06	1位
商大	3' 19" 92	2位



西廣 日菜美(1)

商大ボート部一年にとって初めてのレースが終わりました。私もマネージャーレースに出させてもらいました。マネージャーがボートのレースに出ることができるなんて思いもよらないことでした。土日の合宿練習でもマネージャー四人でボートを漕ぐ練習をしたりと素晴らしい経験をさせてもらいました。ほんの少しの間ですが、選手と一緒に練習をしたことで、一年の仲を深めることができたように思います。北大戦を終えて、ボートを漕ぐ機会がなくなってしまうと思うと少し寂しく感じます。ですが、これからは選手の方が練習やレースに万全の状態に臨めるようにサポートすることに、全力を尽くしていきたいと思います。

○男子対校舵手付きフォア (S. ^{たかぎはやと}高木颯 3. ^{あせしゆうえつ}安生周悦 2. ^{おおつかしんや}大塚伸也 B. ^{えぐちだいき}江口大樹 c. ^{なかむらひんご}中村慎吾)

北大	9' 18" 72	2位
商大	8' 48" 91	1位

高木 颯(4)

対校4+の整調を漕いでいました高木です。レースを振り返ります。スタートは成功したとは言いがたいですが、出ることができました。500m地点で1.5艇身ほどはリードしていたと思います。そのままの勢いで漕いで行き、1000m地点までで3艇身ほどまで差を拡げました。前回のトライアルで課題となった第3クォーターでは、北大に先行しているという高揚感からか気持ち的には落ちることなく漕ぎ続けることができました。最後は声援の後押しで出し切ることができました。コンディションは最悪のレースでしたが、そういうコンディションも想定した練習を積んできたのが勝因の一つとなったと思います。これからも様々な事態を想定しながら練習に取り組もうと思います。応援してくださったみなさま、ありがとうございました。



大塚 伸也(2)

対校フォアの2番に乗っていました、2年の大塚です。5月31日の定期戦において、商大は久々に勝利を収めました。28年ぶりだそうで、驚きです。レース前は朝から5人ともいつになく緊張しており、スタート前も大きくもたついてしまいましたが、強烈なラフコンでも北大より崩れずに漕ぎ切れたのは、商大の方が定期戦に向けての準備がしっかりしていたということだと思います。練習嫌い、レース嫌いな僕も漕ぎ終わった後「楽しかった」と思えたレースでした。やはり相手の背中を見ながら漕ぐのは気持ち良いです。去年、先輩方のレースを見ながら「自分も3年生くらいになったらあれに乗るんだろうな」とか思っていた僕が、対校フォアに乗るとは、可能性はあったとはいえあまり考えていませんでした。フォアに乗るようになってからは練習の強度も高くなり、どんどん自分の限界値が上がっていくのを感じます。僕や江口はまだまだ伸び盛りだと思うので、インカレに向けてどんどん成長していきます。

